ー メコンオオナマズを語るー

大きなナマズのミニシンポジウム

一般公開シンポジウム

未解明な部分の多いメコンオオナマズについての貴重な研究発表がご覧いただけます。

- 開催日 平成20年2月23日[土]
- 時　間 午前10時00分～午後12時30分
- 場　所 岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ 1階 多目的ホール

参加費：無料　定員100名

講演者：荒井修亮 京都大学大学院情報学研究科 准教授/ 甲斐宗一郎 長崎ペンギン水族館 館長/ 池谷幸樹 岐阜県世界淡水魚園水族館 学芸員

GIFU WORLD FRESHWATER AQUARIUM AQUA TOTTO GIFU

第5回メコンオオナマズ学術調査委員会 シンポジウム

2004年3月発足以来、毎年開催されている「メコンオオナマズ学術調査委員会」も今年で第５回目を迎えることができました。毎回国内外の研究者を交えメコンオオナマズについて貴重な研究発表を行っています。
今回、広く一般の方々にもこの生き物の現状を知っていただくため研究発表の公開を行います。
是非この機会に謎の多い不思議な生き物「メコンオオナマズ」について見聞を広めてみませんか？

アクア・トト ぎふ
岐阜県世界淡水魚園水族館

Mekong giant catfish

メコンオオナマズとは

メコンオオナマズはメコン川水系にのみ自然分布し、ギネスブックによると大きいものは全長3m、体重300kgにもなる世界最大の淡水魚とされています。しかし、漁で捕れるものは150kg以上の大きなものばかりで、卵や稚魚が見つかっておらず、どこで産卵し、何を食べ、どこで成長するのかなど、その生態は今も謎に包まれています。

近年、その数が減少し、国際自然保護連合(IUCN)では絶滅危惧IA類(ごく近い将来における野生での絶滅危険性が極めて高いもの)に指定し、ワシントン条約(CITES)では付属書Iに含められ、保護されるようになりました。

現在では漁期や漁師は厳しく制限され、捕れた魚は大変な高級魚として扱われています。タイの水産局では1983年に初めて人工繁殖により一代目(F1)を得ることに成功し、2001年には二代目(F2)を得ることにも成功しました。今では安定して増やすことが出来るようになり、養殖された個体はメコン川などへの放流、研究や食用に利用されています。

メコンオオナマズ
学　名：*Pangasianodon gigas*
英　名：Mekong giant catfish
分　類：ナマズ目パンガシウス科
大きさ：全長300cm

国際自然保護連合(IUCN)：絶滅危惧IA類
ワシントン条約(CITES)：付属書I類

アクア・トトぎふでの飼育

現在アクア・トト ぎふでは、2004年5月にタイ国で人工繁殖によって得られた6尾のメコンオオナマズを輸送し、展示と研究目的の為に飼育しています。6尾のメコンオオナマズにはそれぞれ名前がつけられ、餌の摂取量、呼吸数など毎日計測し、健康管理を行っています。個体識別は体の斑点模様などで見分けることが可能で、タイ語の数字1～6を意味する「ヌン、ソン、サム、シー、ハー、ホク」と名前が付けられています。餌は、メコン川で採集されたメコンオオナマズの消化管の中から大型緑藻類が見つかっている事から、それらを食べていると考えられています。この大型緑藻類は安定供給が難しいことから、アクア・トト ぎふではより自然界で食べている物に近づけようと、タイ国の水産研究所が行っている飼育方法を参考に研究を重ね、コイの配合飼料にクロレラを添加したものを与えています。これまでの記録の中から餌をよく摂取する時期とまったく摂取しない時期があることが分かってきました。アクア・トト ぎふでは、毎日16:30から水槽前でポイントガイドを行い、餌を与える様子をご覧いただいております。

メコンオオナマズ学術調査委員会とは

ワシントン条約で特に絶滅のおそれが高いものとされているメコンオオナマズをアクア・トト ぎふで飼育展示しています。それと並行して野生での未解明な部分の多い生態等を研究し、メコンオオナマズの種の保護に寄与することを目的として「メコンオオナマズ学術調査委員会」が設置されました。

国内外の研究者とともに、メコンオオナマズの水産増殖学的研究、生態学的研究、生理学的研究等を行い、年に一度、研究報告を行っています。

メコンオオナマズ学術調査委員会の歴史

2004年3月26日 第1回メコンオオナマズ学術調査委員会開催

2004年5月17日 タイ国より6個体のメコンオオナマズを岐阜県世界淡水魚園水族館へ搬入

2005年2月18日 第2回メコンオオナマズ学術調査委員会開催
「メコンオオナマズの輸送と飼育下で得られたいくつかの知見」、現地調査として「メコンオオナマズの生物学的特徴とタイ国北部チェンライでのフィールドワーク」、メコンオオナマズに関する文献などの資料収集について報告

2005年4月18日 メコンオオナマズ漁が本格的に始まる前に行われる祭りの様子を現地取材

2006年2月2日 第50回水族館飼育技術者研究会にて発表
「メコンオオナマズの輸送と飼育下で得られたいくつかの知見について」発表

2006年2月21日 第3回メコンオオナマズ学術調査委員会開催
「メコンオオナマズの飼育と展示への取り組み」、現地報告として「メコンオオナマズのメコン川上流におけるダム建設の影響」、生体資料調査として「メコンオオナマズの糞を利用しての調査の試み」など、また資料収集について報告

2007年2月16日 第4回メコンオオナマズ学術調査委員会開催
飼育報告として「メコンオオナマズの飼育状況とDNAサンプル採取」、文献調査として「ブラーブック、文献資料データベース作成と最近のブラーブック研究の動向について」、現地報告として「メコンオオナマズの核型」、生体資料調査として「メコンオオナマズのサンプルをどのように利用するか」など報告

2007年10月5日～2007年10月8日 2007年度日本魚類学会年会にて発表(於:北海道大学)
「水槽飼育下で観察されたメコンオオナマズ*Pangasianodon gigas*の摂餌周期」と「水槽飼育下におけるメコンオオナマズ*Pangasianodon gigas*の頭部体色変化」の2題を発表

■委員会メンバー / 多紀保彦：自然環境研究センター理事長 / 小早川みどり：九州大学理学府生物学科細胞機能学講座 / 児玉文夫：岐阜県河川研究所所長 / 谷村俊介：岐阜県世界淡水魚園水族館副館長 / 池谷幸樹：岐阜県世界淡水魚園水族館学芸員 **■特別委員** / 甲斐宗一郎：長崎ペンギン水族館館長 / 荒井修亮：京都大学大学院情報学研究科准教授 / 小島隆人：日本大学生物資源科学部准教授 / 大原健一：岐阜県河川環境研究所主任研究員 **■オブザーバー**／織田毅：有限会社ジー・エフ・エー代表取締役社長 / 堀由紀子：岐阜県世界淡水魚園水族館館長 **■事務局**／古田正勝：岐阜県都市建築部街路公園課長／粟田圭一：岐阜県都市建築部街路公園課技術主査 / 高橋広昭：岐阜県都市建築部街路公園課主査

講演者紹介

荒井修亮　「バイオロギングが解く、メコンオオナマズの謎」

京都大学大学院情報学研究科 准教授

メコンオオナマズに関する研究論文
■N.Arai, H.Mitamura, Y.Mitsunaga and T.Viputhanumas. Mekong giant catfish tracking project(MCTP):preliminary results in 2002. Aquatic telemetry:advances and applications, FAO/COISPA,125-131 (2005).■山岸祐希子、荒井修亮、光永靖、三田村啓理、T.Viputhanumas.自動魚体回収装置の開発とメコンオオナマズの回収実験. 海洋理工学会誌、10(2),51-57(2004). ■三田村啓理、光永靖、荒井修亮、田中秀二、T.Viputhanumas. 人工湖におけるメコンオオナマズの日周深浅移動. 海洋理工学会誌、査読有、9(2), 209-214 (2004).

甲斐宗一郎　「長崎ペンギン水族館のプラー・ブック(メコンオオナマズ)の飼育について」

長崎ペンギン水族館 館長

メコンオオナマズに関する研究報告
■長崎水族館におけるメコンオオナマズの飼育・実験について　小早川みどり、甲斐宗一郎、田中代士郎、田中博文、道津善衛。平成5年■メコンオオナマズの輸送・実験について小早川みどり、甲斐宗一郎、田中代士郎、田中博文、道津善衛。平成6年

池谷幸樹　「メコンオオナマズと向き合って(これまでに分かったことと水族館ができること)」

岐阜県世界淡水魚園水族館 学芸員

メコンオオナマズに関する研究発表
■「水槽飼育下で観察されたメコンオオナマズ*Pangasianodon gigas*の摂餌周期」 Feeding cycle of the Mekong giant catfish, *Pangasianodon gigas*, in the Aquarium/池谷幸樹、波多野順、谷村俊介、堀由紀子 2007年度日本魚類学会年会(平成19年) ■「水槽飼育下におけるメコンオオナマズ*Pangasianodon gigas*の頭部体色変化」Head color change of Mekong giant catfish, *Pangasianodon gigas*, in the Aquarium/波多野順、池谷幸樹、谷村俊介、堀由紀子　2007年度日本魚類学会年会(平成19年) ■「メコンオオナマズの輸送と、飼育下で得られたいくつかの知見について」/池谷幸樹、堀由紀子、谷村俊介、竹嶋徹夫、堀江俊介、波多野順、眞鍋美智子 第50回水族館飼育技術者研究会(平成18年)

ご利用案内

区　分	個　人		一般団体
	1回券	年間パスポート	20人以上
大　人	1,400円	2,800円	1,120円
中高校生	1,100円	2,200円	900円
小学生	750円	1,500円	600円
幼児(3歳以上)	370円	740円	300円

区　分	学校団体
大学生	1,000円
高校生	850円
中学生	520円
小学生	420円
保育園・幼稚園児	260円
園児付添保護者	1,000円

※障がい者手帳(付添者1名を含む)をお持ちの方は、個人1回券がそれぞれ半額となります。※65歳以上で年齢を証明するものをお持ちの方は、個人1回券が1,260円となります。※年間パスポートの有効期間は、発行日から1年間となります。

車　東海北陸自動車道「川島PA・ハイウェイオアシス」よりすぐ、「一宮木曽川IC」出口から車で約10分、「岐阜各務原IC」出口から車で約10分。駐車場無料。

鉄道・バス　JR「岐阜駅」・名鉄「名鉄岐阜駅」より岐阜バス川島松倉行き「川島笠田」停下車徒歩約15分(土日祝は「河川環境楽園」停まで乗り入れる便もあり)、JR「那加駅」・名鉄「新那加駅」から、かかみがはらふれあいバス利用、名鉄「笠松駅」下車タクシー利用、など。※公共交通機関ご利用の場合は、事前にお時間等ご照合ください。

開館時間　午前9時30分～午後6時まで(最終入館は午後5時)

休館日　無休　※ただし、公園のお休みに伴い水族館もお休みさせていただく場合がございます。
また、臨時休館させていただく場合もございます。詳しくは水族館までお問い合わせください。

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町1453番地　河川環境楽園内
TEL.0586-89-8200　FAX.0586-89-8201
P　C　http://www.aquatotto.com
MOBILE　http://www.aquatotto.com/k

アクア・トト ぎふ
岐阜県世界淡水魚園水族館